

## 1 補助事業の概要

### (1) 事業の目的

新型コロナウイルス感染症の拡大防止の為に機器等の導入を促進する。

### (2) 実施内容

当施設は就労棟・生活介護棟・グループホームと3カ所に分かれています。

各々利用者・利用者の親族・職員・来訪者の出入りがある為、新型コロナウイルス陽性者を水際にてブロックする必要がありました。従来は入口に体温計を置き、来訪者には記帳を依頼していましたが、職員は定期的にPCR検査を実施していましたが、ただし体温計・筆記用具等での接触があり、問題の残る対策でした。また利用者の一部はマスク着用を継続させる事が困難な場合もあり、特に生活介護棟では空気環境の向上が課題となっていました。

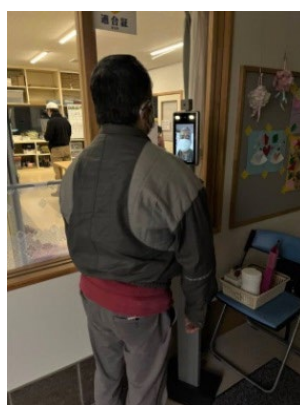
今回、JKA（競輪・オートレース）の補助事業を通して、下記の機器を取得する事ができました。関係する皆さん全員と、地域社会においても安心・安全の願いに大きく寄与しております。

#### ① サーモカメラ設置

就労棟・生活介護棟・グループホームの入口3カ所にサーモカメラ設置。

(就労棟に設置)

毎朝、気軽に体温チェックしています。前に立てば数秒で体温が表示され皆のルーティンになっています。



(生活介護棟・グループホームに設置)

生活介護棟には事務所・厨房等の施設もあり、外部からの来訪者も多くなります。従来は入口に体温計を置き、来訪記録に体温を含めて記帳をいただいていた。サーモカメラには来訪履歴が体温を含めて記録されます。接触する場면을抑制でき、水際対策が向上しています。



②空気清浄機能付エアコン設置

利用者・職員が長時間過ごす生活介護棟。利用者によっては常時のマスク着用が難しい場合もあります。午前中は外での散歩が日課になっているとはいえ、室内の空気環境が重要です。今回設置できた空気清浄機能付エアコンで、コロナウイルス除去を含め、空気環境向上に役立っています。



### (3) 予想される事業実施効果

コロナウイルス等の眼に見えない脅威に対して、どう対応していくかが大きな課題となります。各々が日常生活のなかで大きな負担感を持つ事なく、必要な対策が実施される事が肝要です。施設では従来から継続している職員の定期的なPCR検査、手指消毒、マスク着用、換気等々に加え、水際対策としての体温確認と室内空気環境向上が強化されました。皆の安心安全が確保されていくものと期待しています。

